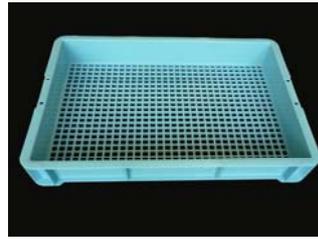
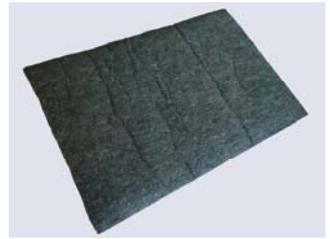


# 簡易式ろ過器

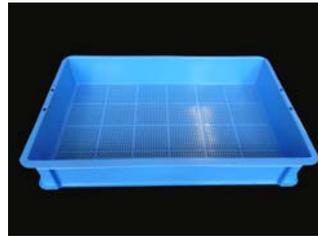
凝集剤「水夢(SUIMU)」にて処理した廃液を簡単に固液分離します。



イチロカ



ロカシ200



ニロカ



ロカシ  
(100・70・50)



サンタンク

凝集処理した廃液を上記装置に流し入れるだけで、簡単に固液分離ができます。固形分がたまれば「イチロカ」ごと交換。交換した容器はそのまま天日乾燥することで、手汚れの心配なく嵩(重量)を少なくすることができます。イチロカへはロカシ200もしくはロカシ100が最適です。乾燥後、そのままくんで処分できます。ロカシは再利用も可能です。

# 脱色・成分除去用ろ過器

固液分離後の廃水の、脱色及び成分除去を行います。



簡易式ろ過器により固液分離後、ろ過水を上記ろ過器に循環させることにより、色素及び成分の除去を簡単に行うことができます。



ロカ筒300



吸着剤セット(ケース・特殊吸着剤)



筒フィルター  
(10・20・50)



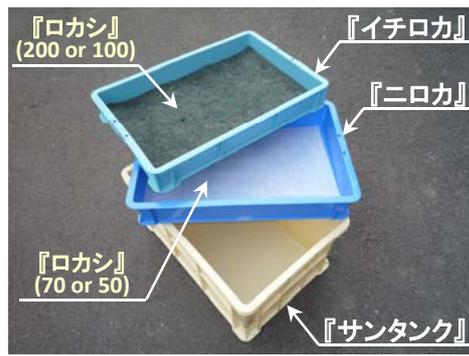
吸着剤ケース



特殊吸着剤

# 簡易式ろ過器

凝集剤「水夢(SUIMU)」にて処理した廃液を簡単に固液分離します。



『イチロカ』  
大きなフロックをろ過します

『ニロカ』  
小さなフロックをろ過します

『サンタンク』  
ろ過水を貯留します

『ロカシ』  
◆再利用可能

持ち運びが容易な簡易式のろ過装置です。総重量は4.6kg。  
トラックの荷台に乗せて現場への運搬も楽々。台車に乗せ、どこへでも移動可能。

## 【凝集処理工程】

1) 処理したい排水をバケツ等に準備します。



2) 凝集剤「水夢(SUIMU)」を準備し、分量を量ります。



(添加量) 2~4g/L 程度

※排水種別や内容、濃度  
によって変わってきます

3) 凝集剤を添加し、よくかき混ぜます。(5~10分程)



攪拌  
(5~10分程度)

上記の様に凝集反応(フロック)が見られたら凝集処理完了。  
※フロックがなかなか見られない場合は水夢を追加してみてください。

## 【固液分離工程】

4) 処理排水を簡易ろ過装置へと投入します。



5) 分離完了「簡単に分離が行えます！」



6) 天日乾燥「『イチロカ』はそのまま移動で乾燥へ」



分離直後

乾燥後

# 脱色・成分 除去用ろ過器

固液分離後の、廃水の脱色及び成分除去を行います。



『ロカ筒300セット』  
簡易ろ過後の2次処理に最適

『筒フィルター』  
浮遊物を除去します

『吸着剤セット』  
成分の除去・脱色を行います

簡易ろ過セットで処理した水を、サンタンク内に溜めて循環しながら浄化します。  
スイッチ一つで手間要らず。浮遊物の除去、及び脱色・成分の除去が可能です。

## 【設置状況】



## 【処理状況】



## 【処理結果】



	色度 (度)	COD (mg/ℓ)
処 理 前	-	20,000
凝集処理後	104	900
ろ過 15分後	65	400
ろ過 30分後	30	160

# 簡易式ろ過器 オススメ使用方法



## ろ過処理 前準備 (ロカシセット状況)

【使用ロカシ】 イチロカ = ロカシ100 ・ ニロカ = ロカシ50 (\*商品一覧参照)

**ポイント 1** ロカシは、左右(長手)に4~5cm程度長くカット。  
(ロカシ脇からの液漏れを防ぎます)

**ポイント 2** ロカシはセット前に水で湿らせ、容器に密着。  
(セットがしやすくなり、ろ過中の水圧によるズレを防ぎます)

**ポイント 3** ニロカのロカシは軽く弛ませ、イチロカで挟み固定。  
(ニロカの底面には密着させず、軽く弛ませることでろ過効率をUPLします)

**ポイント 4** ろ過した固形分をそのまま包んで処分。※洗浄し再利用も可能  
(手汚れの心配なく、作業効率がUPLします)



### ◆上記ポイントを踏まえ、ろ過処理開始。



**分離処理完了!**

「イチロカ」を通り越しても「ニロカ」  
でがっつりキャッチ★

